

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2010-500378(P2010-500378A)

【公表日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-001

【出願番号】特願2009-523990(P2009-523990)

【国際特許分類】

C 0 7 D 409/06 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/4155 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 409/06 C S P

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 31/4155

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月6日(2010.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

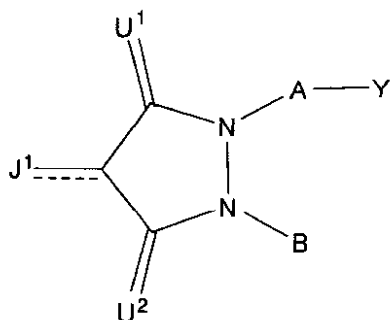
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の構造を有する化合物、その製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ：

【化1】



(式中、点線は、結合の存在または不存在を示し；

Yは、有機酸官能基またはその14個までの炭素原子を含むアミドもしくはエステルであるか；或いは、Yは、ヒドロキシメチルまたはその14個までの炭素原子を含むエーテルであるか；或いは、Yは、テトラゾリル官能基であり；

Aは、 $-(CH_2)_6-$ 、シス- $CH_2CH=CH-(CH_2)_3-$ または $-CH_2C\equiv C-(CH_2)_3-$ であり、これらにおいて、1個または2個の炭素原子はSまたはOによって置換し得；或いは、Aは、 $-(CH_2)_m-Ar-(CH_2)_o-$ であり、Arはインターアリーレンまたはヘテロインターアリーレンであり、mとoの和は1、2、3または4であり、1個の $-CH_2-$ は、SまたはOによって置換し得、1個の $-CH_2-CH_2-$ は、 $-CH=CH-$ または $-C\equiv C-$ によって置換し得；

U¹およびU²は、個々に、水素、OまたはSであり；

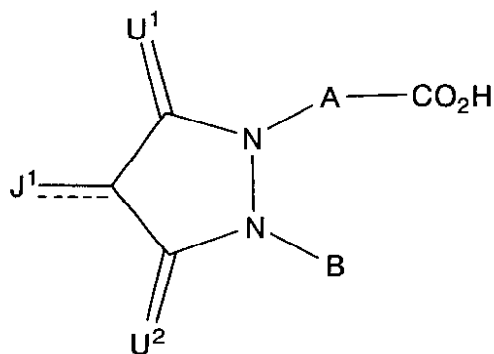
J¹は、H；O；OH；1、2、3、4、5または6個の炭素原子を有するO-アルキル；1、2、3、4

、5または6個の炭素原子を有するアルキル；F；Cl；Br；I；CNまたはCF₃であり；そして、
 Bは、置換アリールまたは置換ヘテロアリールである)。

【請求項2】

下記の構造を有するカルボン酸またはそのバイオイソスターである化合物、またはその製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ：

【化2】



(式中、点線は、結合の存在または不存在を示し；

Aは、-(CH₂)₆-、シス-CH₂CH=CH-(CH₂)₃-または-CH₂C≡C-(CH₂)₃-であり、これらにおいて、1個または2個の炭素原子はSまたはOによって置換し得；或いは、Aは、-(CH₂)_m-Ar-(CH₂)_o-であり、Arはインターアリーレンまたはヘテロインターアリーレンであり、mとoの和は1、2、3または4であり、1個の-CH₂-はSまたはOによって置換し得、1個の-CH₂-CH₂-は、-CH=CH-または-C≡C-によって置換し得；

U¹およびU²は、個々に、水素、OまたはSであり；

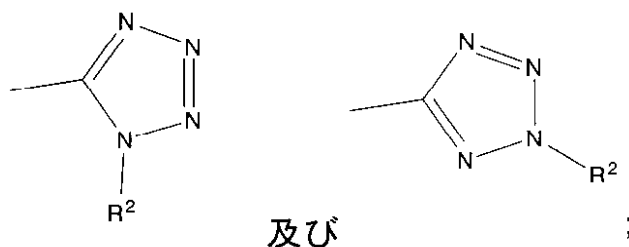
J¹は、H；O；OH；1、2、3、4、5または6個の炭素原子を有するO-アルキル；1、2、3、4、5または6個の炭素原子を有するアルキル；F；Cl；Br；I；CNまたはCF₃であり；そして、

Bは、置換アリールまたは置換ヘテロアリールである)。

【請求項3】

Yが、CO₂R²、CON(R²)₂、CON(OR²)R²、CON(CH₂CH₂OH)₂、CONH(CH₂CH₂OH)、CH₂OH、P(O)(OH)₂、CONHSO₂R²、SO₂N(R²)₂、SO₂NHR²、下記：

【化3】



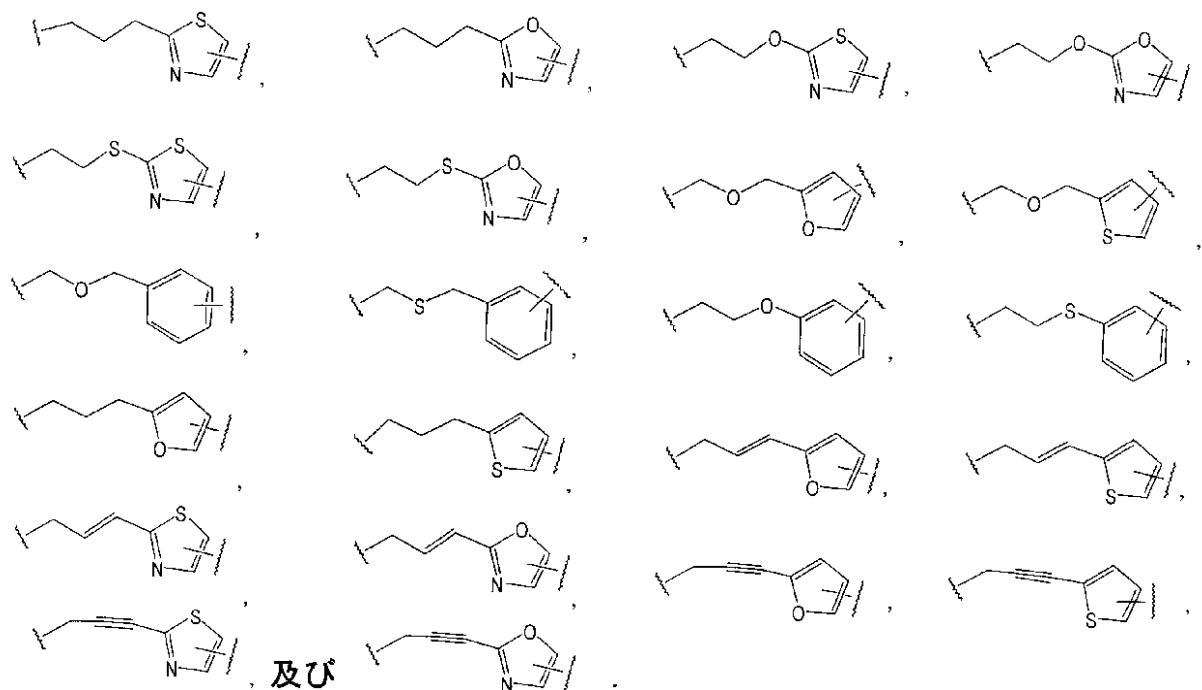
(式中、R²は、個々に、H、C₁~C₆アルキル、非置換フェニルまたは非置換ビフェニルである)

から選ばれる、請求項1記載の化合物。

【請求項4】

Aが、下記から選ばれる構造を有する、請求項3記載の化合物：

【化 4】



【請求項 5】

Aが、5-(3-プロピル)チオフェン-2-イル、6-ヘキシル、または(Z)-6-ヘキサ-4-エニルである、請求項 4 記載の化合物。

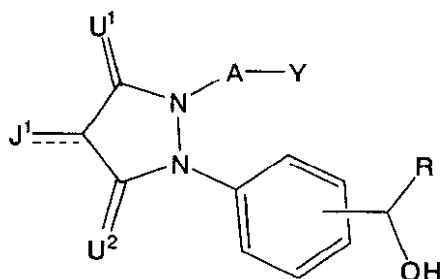
【請求項 6】

Bが、置換フェニルである、請求項 4 記載の化合物。

【請求項 7】

下記の構造を有する請求項 1 記載の化合物、またはその製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ：

【化 5】

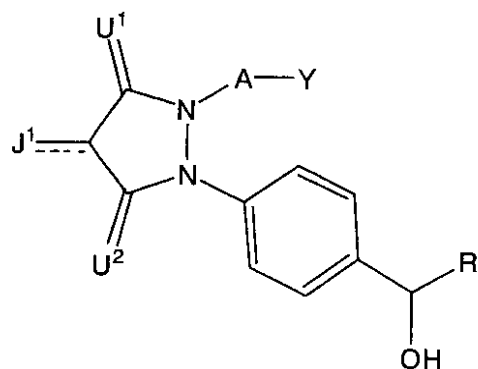


(式中、Rは、水素またはC₁₋₁₀ヒドロカルビルである)。

【請求項 8】

下記の構造を有する請求項 4 記載の化合物、またはその製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ：

【化 6】



(式中、Rは、水素またはC₁₋₁₀ヒドロカルビルである)。

【請求項 9】

Jが、水素である、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項記載の化合物。

【請求項 10】

U¹が、Hである、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項記載の化合物。

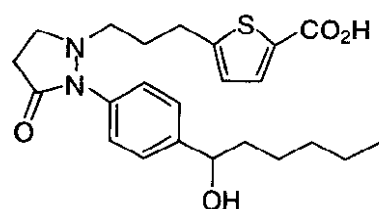
【請求項 11】

U²が、Oである、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項記載の化合物。

【請求項 12】

下記の式を有する、請求項 11 記載の化合物：

【化 7】



【請求項 13】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項記載の化合物の、哺乳類の緑内障または高眼圧症の治療用医薬品の製造における使用。

【請求項 14】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項記載の化合物を 含む、緑内障または高眼圧症の治療のための医薬組成物。

【請求項 15】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項記載の化合物を含み、眼科的に許容し得る液体である組成物。